

「来春にはコロナ前のお客数に戻る」想定は甘い 文教経済委で、佐渡汽船株の経営見通しに疑問の声

12日の午後、市議会文教経済常任委員会が行われました。今回は「小木直江津航路維持と観光を中心とした広域連携について」の所管事務調査です。

最初に小田産業観光交流部長が、高速カーフェリー「あかね」の売却、佐渡汽船株の経営状況、小木直江津航路の利用促進の取組、佐渡汽船株にたいする経営支援について報告しました。

このなかで同部長は、「あかね」がスペイン企業に30億5000万円で売却され、14日にも直江津港にて引き渡されること、「あかね」建造に際し、市が出していた約2億5100万円の補助金については、8月上旬に返還額を確定し、佐渡汽船株に通知すること、佐渡汽船株が今後も小木直江津航路を維持するため、「中長期的に安定的な経営の持続を目指す同社の経営改善の取組を支援する」として、「市議会9月定例会に補助金返還金相当額の支援案を提出できるように手続きを進めている」とのべました。さら

に、支援案の検討が進んだ段階で8月の中旬にも市議会文教経済常任委員会に報告し、議会の意見を聴く場を設けたいとのべました。

委員からは、「佐渡汽船株」の経営状況を聞くと、相当厳しい数字だ。大丈夫かなという気持ちがある」「あかねの売却によって、補助金の返還額は同額になるのか」「佐渡汽船株では、輸送需要について、ワクチン接種完了見込みの来春にはコロナ前と同水準に戻ることを想定しているが、見込みが甘いのではないか」「9月議会に向けて支援額の提案ができるよう準備しているというが、それまでにできるのか」などの質問が相次ぎました。

これらに対し市側は、「貨物運賃の改定など、これまで進まなかったことも取り組まれ、経営改善は進むものと期待し



ている」「返還額は8月上旬にも確定し、議会に報告し、その後、佐渡汽船株に報告する」「支援額は補助金返還と合わせて考えているところだ。佐渡汽船株の経営計画が補助するに値する計画なのかキチンと見て、判断するタイミングを考えたい。支援金は11月、12月ということもありうる」などと答えました。8月の中旬に行われるであろう次回の文教経済常任委員会に注目です。

衆院北陸信越ブロック比例区で立候補を予定しているキヤベヤニハ新編市議が10日、11日と上越市入りし、新型コロナウイルスの感染を「市民と野党の共闘」原野を「シエラ」で平等を「実現する野党連合政権をつくらう」などと訴えました。演説をお聴きください。ありがとうございました。



新型コロナウイルスの感染を「市民と野党の共闘」原野を「シエラ」で平等を「実現する野党連合政権をつくらう」などと訴えました。



未明文学館で平和展
今年も小川未明文学館で平和展を見ました。
1945年5月9日、長崎原爆の爆弾の破片(写真)はこれまでも見たことがあつたような気がするが、当日は特別、目に留まりました。
また、この爆片の被爆体験にも関わらず、市民たちが描いたこの絵、これにもなりました。いざいざ、戦争の残酷性を浮き彫りにするものです。時間があつて、ぜひ、ぜひ一度行きたいと思つておきます。



【ヒメヤブラン】キジカクシ科の多年草。漢字で「姫藪蘭」と書きます。ヤブランに比べて草丈も花も小さく、かわいい感じ。花期は7月～9月。薄紫色、または白の花を咲かせます。花言葉は「新しい出会い」「威厳」。写真は8日、吉川区代石の「鈴木昌司顕彰碑」のそばで老人会の人たちが見つけた。



はしづめ法一の活動レポート

No.2020 2021.7.18
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第六六七回 小粒姫日傘一夜茸

二〇日ほど前のことです。朝七時前、風景写真を撮るために吉川区下中条の池へ行き、めずらしいものに出会いました。小粒姫日傘一夜茸(コツブヒメヒガサヒトヨタケ)です。

小粒姫日傘一夜茸は、いうまでもなくキノコの種類です。特定の樹木に出るものではなく、地上から生えてくるタイプのキノコで、名前の通り小粒です。生長に伴い、傘は卵型から円柱型、釣鐘型、まんじゅう型へと姿を変え、最後は傘が開いたようになります。傘の直径は一〜二センチ、柄の長さは五センチ〜七センチです。

この日、私が見つけた小粒姫日傘一夜茸は、池の水門の近くの土手にありました。傘は薄い灰色で、完全に開いた状態となっていました。傘の表面には放射線状に細かい溝ができていて、見た瞬間、これは傘職人が作ったものだと言いたくなるほど精密にできていました。傘の数は九個。一個出上がるたびに職人さんが傘を開いて置いた感じで、きれいに並んでいました。

あまりにもきれいでしたので、この日は風景写真を撮り、目の前に突如現れたキノコを撮ることにしました。上から、横から、斜めから撮り、そのなかでも傘の美しさをとらえた一枚を投稿サイト、フェイスブックに送りました。写真には、「さすが傘職人」というタイトルをつけ、「お見事です」とツブヒメヒガサヒトヨタケと言います」という言葉も添えました。

私の投稿を読み、最初にコメントを寄せてくださいしたのは十日町市のUさんでした。「久し振りに蛇の目傘を見ました(笑)」というコメントに私は、「こりゃ、いよいよ雨降りかな」と感じました。

続いて、蒲川原区の間部出身のNさんから、「確証は無いのですがここに、鬼太郎も来たろう?」とコメントが入りました。Nさんは楽しい言葉遣いの名手です。

水木しげるの『ゲゲゲの鬼太郎』の妖怪傘とひっかけて、コメントをアップされたのです。こうなれば、負けてはいられません。返信はできるだけ楽しくと思い、「鬼太郎は来ないだろう」と返しました。「鬼太郎」と「来たろう?」を重ね合わせて読んでもらおうと思ったのです。

続いて、直江津のSさん。直江津の歴史に詳しく、まちづくりで頑張っておられる社長さんです。Sさんは「これは見事すぎる。浪人が手内職に作ったものではない」と書いてくださいました。どう返そうかとしばらく考え、私が書いた言葉は、「これだけのものを作るには長年の経験と技術が必要ですね」でした。

多摩市在住で柿崎区や吉川区のことも知っておられるMさんは、「食べられますか?」と、極めてまじめな質問をしてこられました。私はキノコについてはまったくの素人ですので困りました。

正直言って、わからないことを、知っているような感じで書くのをさらすだけです。それで、「私にはわかりません。ただ、傘は食べるもんじゃありません」とひとひねりして答えることにしました。

最後にもうひとつ、春日野在住のTさんのコメントも紹介しておきましょう。Tさんは、「橋爪さん、この下に和服美人がいますよ」というコメントを寄せてくださいました。きれいな日傘とくれば、その傘をさしているのは、やはり女性、それも和服を着ている女性でないといメールが崩れますよね。

一枚の写真とちょっとした説明しかないのに、私の投稿を見てくださった方は、それぞれ立場で、小粒姫日傘一夜茸への思いをぶくらませて下さったんですね。それも、読んだ人たちみんなが、楽しくなったり、うれしくなったりすることはかりです。みなさん、ありがとうございます。

今年も鈴木昌司顕彰碑周辺を掃除

私の地元には政治結社、明十社(めいじゅうしゃ)をつくり、新潟県自由民権運動の指導者の一人となった鈴木昌司の顕彰碑があります。

8日、地元老人会のみなさんがこの顕彰碑周辺の草取り、植木の剪定作業を行いました。イラストは作業が終わって、お茶を飲んでいるところです。画の一部に遊びがあります。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	7月7日(水)	7月14日(水)
上越南消防署	0.053	0.057
上越北消防署	0.047	0.043
新井消防署	0.053	0.053
頸北消防署	0.057	0.050
頸南消防署	0.073	0.050
東頸消防署	0.057	0.050
名立分遣所	0.067	0.067
高士分遣所	0.053	0.057



イワスゲ

チマキや笹田子づくりに欠かせないものの1つはイワスゲです。直江津の三八市でも売っていますよ。

8日の市でかっこよくぶら下げてあったイワスゲは、それこそ岩肌が見える急斜面で梯子をかけて採ってきたとか。苦勞の産物ですね。